

## 11月定例自然観察会 実施報告書

2024年11月16日

実施日 2024年11月10日（日）  
テーマ しっとり谷筋で、カラッと林道で、木々の実や紅葉を楽しもう  
コース 鈴蘭台駅～菊水山・谷筋～山頂～舗装路～鈴蘭台駅  
集合 9時30分 鈴蘭台駅、10時に菊水山登山口を出発  
解散 14時50分 菊水山登山口  
参加者 ビジター38名、会員18名（うち6班13名）

菊水山は、全山縦走路からは厳しい登りを強いられるが、北側の鈴蘭台からは高低差が小さく緩やかな登り道で自然観察に適している。今日のコースは鈴蘭台駅に集合、登山口で受付をして谷沿いを登って山頂で昼食、帰路は舗装路（管理用道路）をゆっくりと下るといったコースである。観察は5グループに班分けして各々に複数名のスタッフで案内を行う。



11月に入って秋が進んできたが、幸いにも今日は冷え込みも緩んで絶好の観察日和となった。谷沿いを歩く道は結構明るくて、コシアブラやタカノツメ、リョウブ、ウワミズザクラといった高木の下にはクロモジ、コアジサイ、コガクウツギ、クロモジ、ヤブムラサキ、コバノガマズミなどの低木が群生し、植生豊かな楽しい散策道である。



樹木の葉が色づき始め、種々の果実が赤や紫などに熟して観察ポイントが多く、立ち止まっての観察に熱が入って歩みが遅くなった。登るとともに照葉樹も増えてくる。アカガシの巨木を見上げながら、その説明に聞き入る。



岩床を流れる溪流の流れがきつくなると、やがて舗装道路に合流する。



ナナミノキ、リンボク、キガンピとガンピ、イヌザクラ、タムシバなどを観察しながら進むと山頂が近づいてくる。舗装路の道端にキチジョウソウが花開いて迎えてくれた。めったに開花しないので幸せを呼ぶ花とされていて嬉しい出会いとなった。

今日は六甲山全山縦走大会の開催日で、多くの縦走参加者とすれ違う。菊水山の通過は午前中に終わると見込んでいたが予想外だった。半縦走の参加者の通過時刻と重なったようで、参加者を避けながら山頂へ。それでも予定どおりの12時過ぎに山頂で昼食をとることができた。

山頂からの眺望は良好で、眼下には神戸の街やポートアイランド、大阪湾の彼方にはうっすらとではあるが金剛山や大峰山系まで見渡せた。



帰路は管理用の舗装路を下る。途中で他では見る機会が少ないホソバイヌビワやニガキなどを観察。

沿道はイロハモミジ、ウルシ類、シラキなどの紅葉に彩られて楽しい道である。今年は夏の猛暑の影響で色づきがあまり良くないようだ。



沿道にはイヌザンショウ、コバノガマズミ、シロダモなど果実も多い。赤と黒のコントラストが美しい実が目に入ってくる。クサギやゴンズイは実が裂けると中から黒い種子が表れてツートンカラーとなる。この2色効果で野鳥を呼び寄せて種子を運んでもらっている。両側の樹々にはつる性の植物が巻き上がって、実から種子を飛ばしている。



北側の視界が開けて眼下に鈴蘭台の街や住宅地が見えてくると終点が近づき、14時30分～50分に登山口に戻って観察会を終了、班ごとに解散した。